

食生活改善は？

町長

取り組みを支援する

【吉原】本町においても少子高齢化と生活習慣病の多発などで、社会保険や国民健康保険の負担が大きくなっている。



吉原美智恵 議員

日本の長寿を支えてきた食習慣がくずれ、医療機関が行なう生活改善指導にも限界がある。町民を健康にして社会保障費を下げるため、食生活改善を町の重要課題としてとらえてはどうか。学校での食育は、【教育委員会】食と命のかかわりの知識を深め、食育計画にそって活動を進めている。



食生活改善推進員の養成講座

【吉原】町の食生活改善指導は。【町長】保健推進員と福祉推進員が連携している。病氣予防をテーマにした集落での活動と食生活改善推進員の力も生かしながら取り組んでいく。【吉原】町産の農産物の付加価値への補助は。【町長】安心・安全な生産物を提供するため、認証制度を活用していく。



諸遊壤司 議員

大山恵みの里 公社は？

町長

3年目に黒字となった

【諸遊】生産者の意識向上、所得向上などを目的に、大山恵みの里公社が5年前に設立された。目的に合う事業展開と実績を残しているか。【町長】公費を投入しているが、公社全体として3年目に黒字決算となった。

【諸遊】町長の考える産地公社とは何か。【町長】町産品の販路開拓や新商品の開発などを有利販売することと、それを支援すること。【諸遊】昨年度、前専務が台湾、シンガポールに6回69日、250万円の費用で販売促進に行っているが、取引きの実態は。【町長】新年度に入って3カ月、取り引きにはなっていない。

【町長】プライベートなことなので認識していなかった。【諸遊】種々の問題に対し、恵みの里公社の評議員会、理事会はどのような考えでいるのか。【町長】平成23年度黒字に役職員が努力をしてきたことに高い評価をしている。【諸遊】韓国、米国と姉妹組みを結んでいる。今後、姉妹都市の名産品を公社で取りあつかう考えはないか。【町長】検討、参考にす



公社を支える職員